

北海道浮魚ニュース

平成 12 (2000) 年度 17 号 (通巻 No.87)

2000 年 9 月 26 日

| | | |
|-------------|--------------------|--------------------|
| 北海道立中央水産試験場 | Tel : 0135-23-8707 | Fax : 0135-23-8709 |
| 釧路水産試験場 | Tel : 0154-23-6221 | Fax : 0154-23-6225 |
| 函館水産試験場 | Tel : 0138-57-5998 | Fax : 0138-57-5991 |
| 稚内水産試験場 | Tel : 0162-32-7177 | Fax : 0162-32-7171 |
| 網走水産試験場 | Tel : 0152-43-4591 | Fax : 0152-43-4593 |

オホーツク海サンマ漁期前調査結果

- 水温は高め、灯付き悪く、多くて知床岬沖の数百尾のみ
- 少ないながら中型魚以上が知床～サロマ湖沖まで分布

9月18日～22日に稚内水産試験場試験調査船北洋丸でオホーツク海(雄武～ウトロ沖)のサンマ漁期前調査を実施しました。調査概要は以下のとおりです。

1. 表面水温は 15～20 で、宗谷暖流の沖合でも 16～17 台が広がっていました(図2)。
2. 夜間の魚群目視調査では、知床岬沖 20 マイル付近で数百尾程度のサンマ魚群が認められましたが、それ以外の地点では、数尾～数十尾程度でした(図3)。いずれの地点でも灯付きが悪く、漁獲対象となる、まとまった群になりませんでした。
3. 体長 20cm 以上の漁獲対象サイズは、北緯 44 度 40 分ラインで知床岬沖からサロマ湖沖にかけて確認されました(図3)。その西側海域では体長 10cm 前後の漁獲対象外のサンマしかみられず、また、沖合では 20cm 台が数尾目視されただけでした。
4. 知床岬、斜里、サロマ湖沖の 3 カ所で流し網(刺網目合 29mm1 反, 37mm1 反, 計 2 反)による漁獲試験を行い(図3)、それぞれ 25～183 尾の漁獲がありました(図1)。魚体は、小型(20-23cm)・中型(24-28cm)・大型以上(29cm-)が 2・6・2 の割合でした。
5. ほとんどの地点でスルメイカが数尾～数十尾目視されました。

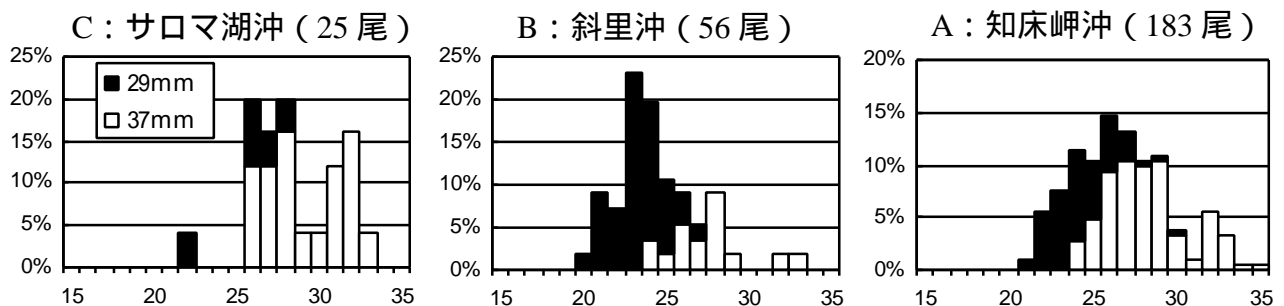


図1 流し網で漁獲したサンマの肉体長 (cm) 組成 [漁獲位置は図3 参照]

カッコ内尾数は目合 29mm と 37mm 計 2 反の漁獲尾数

(文責 網走水試資源管理部)

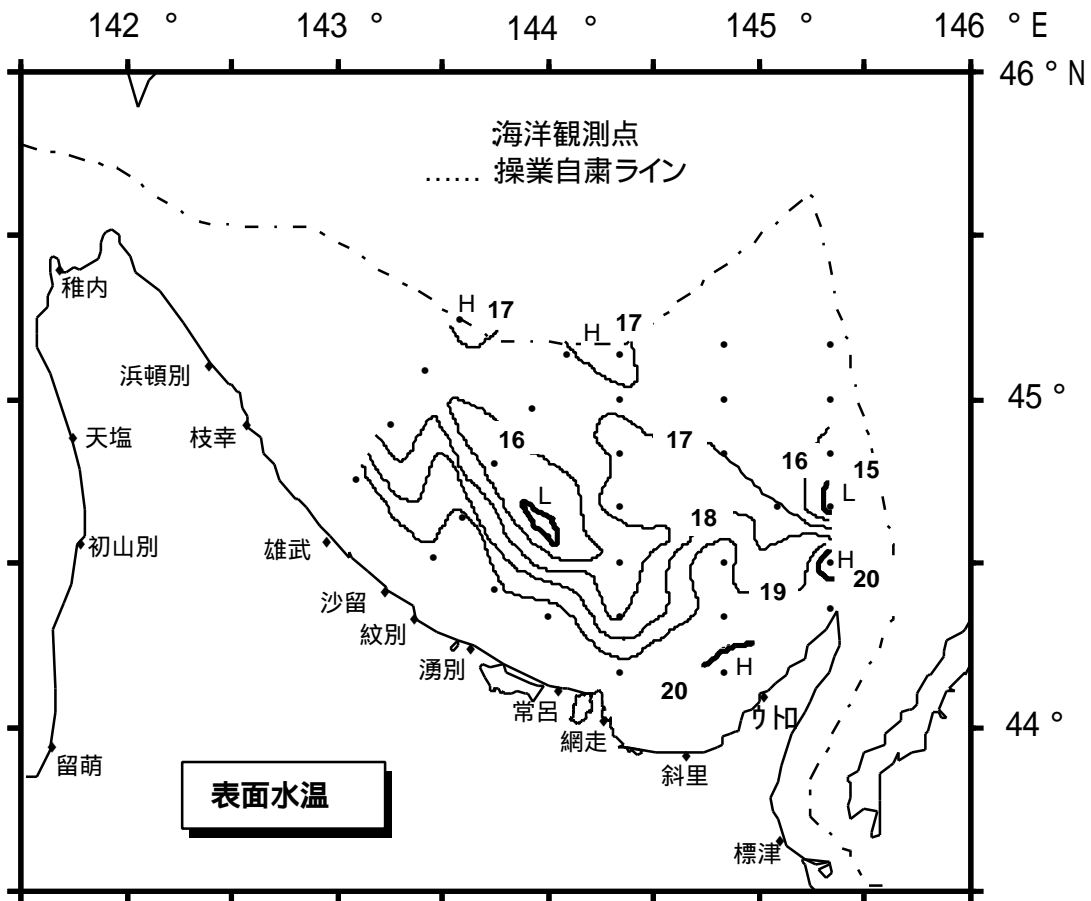


図2 表面水温分布 (2000年9月18日~21日)

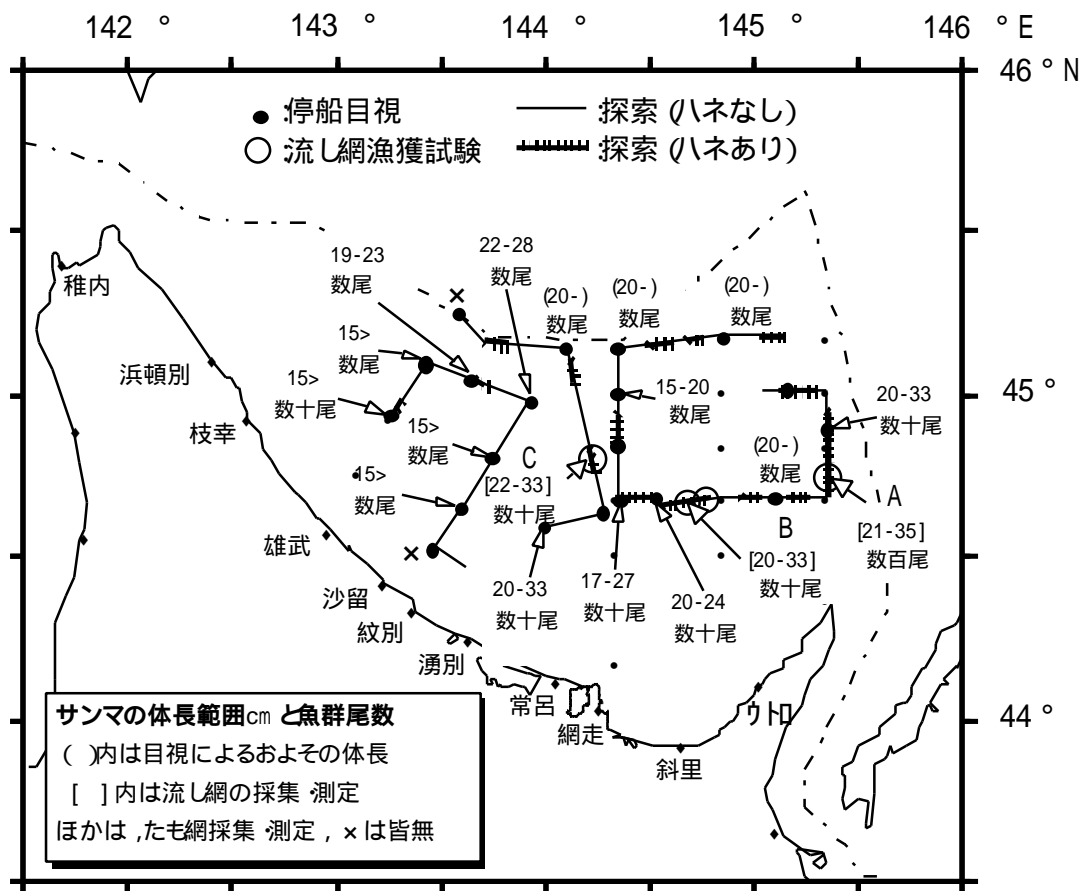


図3 探索・目視・漁獲試験結果 (2000年9月18日~22日)
流し網試験A・B・Cの体長組成は図1参照